

センターだより－林檎－

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

平成31年 1月発行



青森学習センター・八戸サテライトスペース文化祭より。來生放送大学長が来訪されました。(H30.10/13～14、10/20～21撮影)

特集 秋の行事・冬の試験、そして来春の備え 講演会・学生活動／30-2 単位認定試験／31-1 面接授業

- 2 | 巻頭言「思い出すことと結びつけて」
- 3 | 青森学習センター・八戸サテライトスペース文化祭レポート
- 4 | 平成30年度第2学期単位認定試験のご案内
- 6 | 平成31年度第1学期面接授業について
- 8 | 講演会レポート
- 9 | 深まる親睦、深まる秋～学生行事レポート
学友会「蕎麦打ち体験学習」
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 1・2・3・4月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ

明けましておめでとうございます。
今年も宜しくお願い申し上げます。



放送大学青森学習センター
ホームページ
放送大学青森
センター
八戸サテライトスペース

巻頭言

—かんとうげん—

思い出すことと結びつけて

青森学習センター所長 倉又 秀一



二つのエピソードをまずお話しします。

一つ目。

だいぶ前の話ですが、大学を紹介するために、高校へ出前授業をした時です。自分の研究の内容を説明して、まだこういうことがわからないのでそれを明らかにしたいので研究を続けているという話をしたら、高校の先生に大学の先生でもわからないことがあるのだとびっくりされて、ちょっと意外の感にうたれました。大学で研究を続けるということは、わからないことがありそれを明らかにしたいと思っているからで、大学の先生は何でも知っていると思われるとは、誤解も甚だしいし、世の中すべてわかってしまっているわけでないのにと思いました。

二つ目。

大学で物理数学を教えていた時、演習問題の解答を学生さんに配らず、掲示だけにしました。自分でまず解いて、その結果を掲示と比較してチェックしてほしいという思いでした。しかしある学生から、自分は解き方を見てそれで学んでいくので、解答を配ってほしいと言われました。自分の意図がなかなか伝わらないという思いとともに、答えを見ずにまず解いてほしいのだが、と思いました。

まだたくさんわからないことがある。そのことを意識して、未回答の問題に挑戦する準備として学ぶ時、たとえ答えがわかっている問題でも、自分にとって未知の問題ですから、まず自分で解こうとすることが必要だと思います。安易に答えを覚えるようなことは慎み、自ら解くという積極性が必要だと思います。

そして、まだわからないものはたくさんあるのですから、いろいろなことに興味をもって、問題を探してもらいたいと思います。

学習センターで公開講演会を開いても、学生さんの参加が少ないのを残念に思います。公開講演会などは、興味の種を見つけ、さらに深く学んでいく手掛かりになるのではないのでしょうか。

平成30年度第2学期に開催された公開講演会の要旨を、倉又所長がまとめてくださいました。本誌8～9ページに掲載されていますので、皆様是非ご一読ください！
放送大学青森学習センターでは、今後もさまざまな公開講演会を開催していく予定です。講演会の要旨をお読みになった皆様、次回開催の講演会には是非ご参加ください！

文化祭
レポート

青森学習センター・八戸サテライトスペース文化祭開催！

10/13(土)10/14(日)に八戸サテライトスペース、そして10/20(土)10/21(日)には青森学習センターで初の文化祭が開催されました。参加された学生さんからのコメントをお伝えします。

「文化祭 2018 報告、テーマは結実」

今年の文化祭は、10月13日14日八戸サテライトスペース、10月20日21日青森学習センターという日程で行われ、テーマは「結実」でした。

この文化祭はミステリーサークル主催で、サークルメンバーが6人で携わり、八戸サテライトスペースで開催した内容を青森学習センターに遠征して同じ内容で行いました。常設コーナーでは、「マジックレクチャー」「占いコーナー」「教えて先輩」「名曲喫茶 Wien」「写真・絵画展示」。

ステージショーでは、「マジックショー」「スコップ三味線ショー -ももちゃんず-」「中森明菜っ葉ショー」(八戸のみ)がありました。また、青森学習センターでは学長を囲んで懇談会がありました。

特にマジックショーでは、八戸サテライトスペースに三沢のマジシャン・Micさん、青森学習センターには、鶴田町のマジシャン・イサミ君、弘前大学マジックサークルのメンバーが来てくれて、華麗な技を見せてくれました。

天気にも恵まれ、大いに盛り上がった文化祭になりました。

ミステリーサークル副総長 谷内 義貴

「青森学習センターへの文化祭、初！参加」

所属している八戸サテライトの文化祭も家庭の事情で二日間、まともに参加した事が無かった自分でしたが、今回初めて青森学習センターの文化祭で二日間通して参加させて頂きました。

文化祭当日は同じ敷地の弘前大学の文化祭も行われており、どれくらいの人数的に学習センターの文化祭へ来てくれるのだろうと、ドキドキしながら準備開始。マジックコーナー・名曲喫茶コーナー・教えて先輩コーナー、学生さんの手づくりアクセサリーコーナーもあり、フロアは充実した空間となりました。

マジックコーナーでは、ミステリーサークル総長のU氏の知人が友人の方達と来所され、国内でもトップのジャグリングを披露してくれたり、副総長のT氏が多数のCDを持参した名曲(迷曲?!)喫茶コーナーからの音楽に癒されながら、お手頃価格のコーヒーを飲む。何ともゆったりとした時間を過ごす事が出来ました。教えて先輩コーナーでは同窓会長のS氏が担当され、子どもさん連れの学生の方へ丁寧にお話しされていて、子どもさんには青森の大ベテランI女史や周りのスタッフが対応。そのI女史から「折り紙」を教えて頂き、自分達もすっかり楽しませて頂きました。

放送大学の 来生 新 学長が青森市内の講演会終了後に、学習センターへ寄られ限られた時間の中ではありませんでしたが、懇談会を行う事に。その中で、これからの放送大学についてや学生の話を真剣に聞いて下さり、とても親しみやすく、ざっばらんに意見交換が出来ました。思いがけず、学長とお会い出来て嬉しかったです。

ともあれ、参加された倉又所長をはじめ青森学習センターの皆様、八戸サテライトからのスタッフの皆様、お疲れ様でした。機会がありましたら、また楽しみましょう！ その時は、これを読んだ皆様の多数のご参加・ご出席をお待ちしております。

八戸サテライトスペース 鹿糠 春彦



「マジックショー」皆さん真剣な面もちでマジシャンの手許を見えています。(八戸)



「教えて先輩」先輩から色々アドバイスを受けられます。(青森)



「中森明菜っ葉ショー」本物そっくりです！(八戸)



参加者で記念撮影。(八戸)



来生放送大学長を囲んでの懇談会。ざっばらんに意見交換ができたようです。(青森)



凄腕マジシャン。チャイナリングを披露してくれました。(青森)



「スコップ三味線ショー」青森SCでは初披露となりました。(青森)



来生放送大学長を囲んで参加者と記念撮影。(青森)

～学生さん方の作品集～



平成30年度第2学期 単位認定試験のご案内

放送授業を科目登録し、通信指導の結果により受験資格を得た方は単位認定試験を受験することができます。試験日の約1週間前までに大学本部から送付される「単位認定試験通知（受験票）」と、受験票に同封される「単位認定試験受験に際しての注意事項」を必ず確認してください。

試験日時・試験会場

- 夏季集中型(看護)再試験…1月24日(木)
 - 大学院…1月24日(木)、1月26日(土)
 - 教養学部…1月25日(金)、1月27日(日)、1月29日(火)～1月31日(木)、2月2日(土)
- ※1/28(月)・2/1(金)・2/3(日)・2/4(月)は閉所日です。

- 青森学習センター
 - ・夏季集中型(看護)再試験：青森学習センター講義室
 - ・大学院：青森学習センター講義室
 - ・教養学部：コラボ弘大8階八甲田ホール
青森学習センター講義室(注)
- (〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大内)

- 八戸サテライトスペース
 - ・夏季集中型(看護)再試験：ユートリー4階研修室
 - ・大学院：ユートリー4階研修室
 - ・教養学部：ユートリー5階視聴覚室
ユートリー4階情報室・伝統工芸室(注)
- (〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22
八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)内)

(注) 1/25(金)・1/30(水)・2/2(土)のリスニング科目試験会場

-試験時間割-

時限	時間
1時限	9:15～10:05
2時限	10:25～11:15
3時限	11:35～12:25
昼休憩	
4時限	13:15～14:05
5時限	14:25～15:15
6時限	15:35～16:25
7時限	16:45～17:35
8時限	17:55～18:45

- ※ 試験開始10分前までに入室してください。
- ※ 遅刻は試験開始後20分まで認めますが、試験時間の延長は認めません。

座席

座席はすべて科目ごとの指定となります。

- ・試験会場入口に「座席表」が掲示されています。受験する科目に該当する座席番号を確認してください。
- ・試験室の机には番号が貼られていますので、確認した番号の範囲で空いている席に着いてください。
- ・新規登録科目と再試験科目の試験時限が重なった場合は、どちらか1科目を選択し、該当科目の席に着いてください。

受験の際に必要なもの

- ① **単位認定試験通知(受験票)**
1月17日(木)になっても受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部に連絡してください。
(電話:043-276-5111 (総合受付))
- ② **学生証**
学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、右記をご参照ください。
- ③ **持込み許可物品(科目により異なります。)**
受験票に同封されている「単位認定試験時間割」で確認してください。
また、各科目の解答形式(択一式・記述式・両者併用式)も記載されていますので、あわせて確認してください。
※試験の約1ヶ月前から学習センター・サテライトスペース掲示板やシステムWAKABAでも確認できます。
- ④ **筆記用具**
筆記用具はHBの黒鉛筆を使用してください。



学生証の受け取りは
お済みですか？

学生証は、単位認定試験受験時に受験票とともに必ず机上に提示していただきますので、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。

受け取る際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学中で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の葉」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録をお願いします。

結果

2月下旬に大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、次の学期に学籍がある場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます。（再試験に係る授業料等はこちらではありません。）

今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください。

（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります。）

ただし、再試験科目と同じ試験時間に新規科目を登録すると、どちらか1科目しか受験できません。

自習室について

試験期間中には、下記施設を自習室として開放します。利用にあたっては、下記注意事項と当日の掲示物を必ず確認してください。

●青森学習センター

青森学習センター講義室 … 1月27日（日）～ 2月2日（土）の9:00～18:00
（※1/28・2/1は閉所日。）

※試験対応のため利用できない場合があります。その場合は、当日の掲示物にてお知らせしますので、視聴学習室またはコラボ弘大1階の自習スペースをご利用ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー5階異業種交流室 … 1月24日（木）～ 1月30日（水）の9:00～18:00
（※1/28は閉所日。）

ユートリー4階情報室 … 1月31日（木）の9:00～18:00

ユートリー4階デザイン室 … 2月2日（土）の9:00～18:00

【自習室利用時の注意事項（青森・八戸共通）】 ※厳守願います。

- ①自習室の定員には限りがあるため、ご利用は先着順とします。
- ②退室する際は、忘れ物のないようご注意ください。
- ③自習室での私語は一切禁止します。

その他注意事項

●単位認定試験期間中は、図書室・視聴学習室の開所時間が変更になりますので、ご注意ください。

・青森学習センター 9:00～19:00
・八戸サテライトスペース 9:00～18:45

- カンニング、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格および懲戒の対象となります。また、故意ではなくとも持ち込みが認められていない印刷教材等を参照することは不正行為として取り扱われますので、十分注意してください。
- 天災、交通機関の事故、大雪・凍結等による交通機関のまひ、その他受験生の責任に帰さないやむを得ない事態等（ただし、自家用車等使用時の事故等は除く）により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。
- 試験問題を持ち帰ることはできません。

駐車場

●青森学習センター

単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。

単位認定試験期間中(平日)は、駐車場を利用できません。

●八戸サテライトスペース

八戸駅前駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引となる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

平成31年度第1学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は5,500円。（放送授業は1科目2単位）
- 全8回（675分）の授業を実施し、試験・レポート等により評価を行います。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要がありますが、選科履修生・科目履修生も履修が可能です。



在学 科目登録

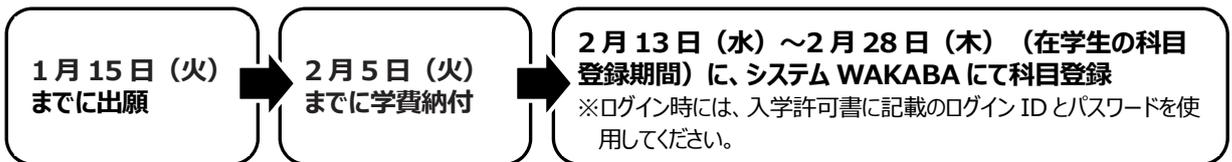
在学生の方は、下記の期間に放送授業とともに科目登録申請を行ってください。
なお、在学生には平成31年1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

- 「科目登録申請票」による申請期間…2月13日（水）～2月27日（水）**私書箱必着**
- システム WAKABA による申請期間…2月13日（水）9:00～2月28日（木）24:00

入学 学期当初からの 科目登録

入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。
全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

- ① 新規入学生
- ② 過去に放送大学を卒業または在籍したことがあるが、平成30年度第2学期に学籍のない方



- ③ 継続入学生（平成30年度第2学期に学籍があり、継続して入学される方）



トピック★

BS デジタル放送で講演会・面接授業の様子が紹介されました



公開講演会を取材中

11/10(土)11(日)に青森学習センターで実施した面接授業「縄文人の生活を探る」（講師：上條信彦 先生）と、11/11(日)に実施した「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産への登録を目指し取り組みを進めている「三内丸山遺跡」をテーマにした公開講演会「北の縄文世界—その魅力と価値—」（講師：岡田康博 先生）が取材され、関連した放送大学のテレビ番組が、放送大学のBS231ch「BS キャンパス ex」で放送されました（番組名：公開講座セレクション『1万年続く豊かな漁労狩猟採集文化～三内丸山遺跡と縄文の魅力』『縄文遺産と世界遺産～北の縄文の実像～』と、BS キャンパス ex 特集（連携面接授業関係）『縄文文化からのメッセージ～北日本の考古学～』）。再放送の機会がありましたら、ぜひご覧ください。青森学習センターでは、今後も地域の特色あふれる面接授業を実施していく予定です。



トピック★

平成31年度第1学期より面接授業が変わります

- ◆ 総実授業時間（675分）を確保するため、原則として1コマの授業時間が85分から90分（最後の8時限目は45分）に変更となります。
* 各学習センターの時間割表も変更となりますので、時間割表冊子等でご確認ください。
- ◆ 授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等（*）の時間が設定されます。
* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください。）フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。
- ◆ 成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく、合・否⇒④～Eの6段階に変更となります。
- ◆ シラバスに面接授業「受講前の準備学習等」について記載されます。

青森学習センター・八戸サテライトスペース 開講科目一覧

青森学習センター

科目区分	科目コード	クラス コード	科目名(担当講師)	場 所	開 講 日	定員
基盤科目: 外国語	2516667	K	英語の絵本の世界へようこそ (サワダ ハンナ ジョイ 先生)	青森学習センター	6月1日(土)1~4時限 6月2日(日)1~4時限	40
導入科目: 自然と環境	2516675	K	色々な噴火-減災の基礎知識- (北村 繁 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	6月8日(土)1~4時限 6月9日(日)1~4時限	40
専門科目: 生活と福祉	2516683	K	明日の健康と予防への取り組み方 (漆畑 俊哉 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	7月13日(土)1~4時限 7月14日(日)1~4時限	40
専門科目: 心理と教育	2516691	K	対人行動の心理学 (田名場 忍 先生)	青森学習センター	4月27日(土)1~4時限 4月28日(日)1~4時限	40
	2516497	K	心理学実験2 (吉中 淳 先生)	青森学習センター	5月25日(土)1~4時限 5月26日(日)1~4時限	20
専門科目: 社会と産業	2516705	K	青森りんごの歴史と経済 (成田 拓未 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	5月11日(土)1~4時限 5月12日(日)1~4時限	40
専門科目: 人間と文化	2516713	K	発掘が語る縄文文化 (小笠原 雅行 先生)	三内丸山遺跡縄文時遊館・ さんまるミュージアム	6月15日(土)1~4時限 6月16日(日)1~4時限	35
	2516721	K	青森の美術-棟方志功と縄文 (蝦名 敦子 先生)	青森学習センター	6月22日(土)1~4時限 6月23日(日)1~4時限	40
	2516730	K	ヨーロッパとは何か:歴史と理念 (中村 武司 先生)	青森学習センター	7月6日(土)1~4時限 7月7日(日)1~4時限	40
専門科目: 情報	2516748	K	プレゼンテーションの理論と実践 (加藤 浩 先生)	青森学習センター	4月27日(土)1~4時限 4月28日(日)1~4時限	10
専門科目: 自然と環境	2516756	K	有機と無機間の化学 (岡崎 雅明 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	5月18日(土)1~4時限 5月19日(日)1~4時限	40
	2516764	K	白神学-白神の動物と植物 (石川幸男先生・中村剛之先生・山岸洋貴先生)	弘前大学白神自然観察園 (6/29の3時限目から、6/29の2時 限目までは青森学習センター。)	6月29日(土)1~4時限 6月30日(日)1~4時限	30

八戸サテライトスペース

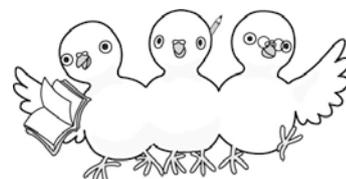
科目区分	科目コード	クラス コード	科目名(担当講師)	場 所	開 講 日	定員
基盤科目	2516772	Q	歴史と法との対話 (高須 則行 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	6月29日(土)1~4時限 6月30日(日)1~4時限	40
専門科目: 生活と福祉	2516780	Q	リスクコミュニケーション論 (奈良 由美子 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	4月20日(土)1~4時限 4月21日(日)1~4時限	40
	2516799	Q	新生児期-3歳未満の発達と特徴 (坂本 保子 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	4月27日(土)1~4時限 4月28日(日)1~4時限	40
	2516802	Q	福祉マネジメント論 (小柳 達也 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	7月13日(土)1~4時限 7月14日(日)1~4時限	40
専門科目: 社会と産業	2516810	Q	ヒューマンインターフェース入門 (小坂谷 壽一 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	5月25日(土)1~4時限 5月26日(日)1~4時限	40
専門科目: 自然と環境	2516829	Q	自然災害科学 (佐々木 幹夫 先生)	ユートリ-5階視聴覚室	6月1日(土)1~4時限 6月2日(日)1~4時限	40
	2516837	Q	環境と生物-種差海岸で考える- (田中 義幸 先生)	三陸復興国立公園 種差海岸インフォメーションセンター内 レクチャールーム	7月6日(土)1~4時限 7月7日(日)1~4時限	20

登録加
申科
請目

科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、追加科目登録を受け付けます。科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。

詳細は、3月中旬~下旬に案内チラシ送付にてお知らせします。

- 空席状況発表日…4月13日(土)12時
- 事前申請期間…4月13日(土)12時~4月18日(木)
- 先着申請期間…4月19日(金)~各科目の受付期限まで



講演会レポート

2018年秋も、公開講演会が目白押しでした！聴講した倉又所長によるまとめにて、講演会の要旨をお伝えいたします。

10/20 (土)

「教育と通信制度—高等教育における教養教育、職業教育の歴史とメディア—」

講師：來生 新 氏（放送大学学長）／青森明の星短期大学ジムナース

青森明の星短期大学と放送大学が連携協定を締結するにあたり、來生学長が同短期大学を訪問された時、学長の講演会を持ちたいという話があった。短大と青森大学との共催で行ってきた「学びの森市民セミナー」で、來生学長に講演をお願いしたいという依頼を受け、今年度の放送大学新時代記念事業を兼ねたかたちで、この講演会が開催された。

古代ギリシアなどでは、「教養」は、全体的、調和的人間になるべく身につけるものという意味合いを持っていた。しかし中世の大学は、聖職者を養成するところから始まり、医者、法律家を育成するところに起源をもち、それらを学ぶための基礎科目としての「教養科目」があった。大学では当初の宗教との結びつきを離れ、神すらも知らない未知の領域を探る科学的思考態度が生まれてきて、実学、職業性、専門性が尊重されるようになった。

他方19世紀になって西欧で近代郵便制度が確立され、通信教育が生まれたが、速記術、秘書業務などの職業教育が中心であった。日本では明治維新で近代郵便制度が生まれたが、近代化の担い手養成の学校制度が不十分で、講義録などによる通信教育が生まれた。しかし、学校制度の整備が進むにつれて、この通信教育は廃れていった。

日本でのラジオ放送が開始（1925）され、学校放送（1935）が始められ、太平洋戦争では、軍国主義と全体主義の宣伝手段としてラジオが利用された。戦後、逆に民主主義教育のための放送が占領下でなされた。教育基本法などの制定に伴い、通信教育認定規定が制定され、ラジオによる教員研修などが行われた。さらに、1950年通学制の大学が正規の通信制大学教育課程の認可を受け、併設した。

高度経済成長のもと、高校進学率の向上で、勤労者などより多くの人に大学教育の機会を提供する必要が生まれ、他方テレビの普及が進んだのでそれを利用した高等教育機関が1969年構想された。最終的に1983年放送大学が開設された。

以来三十数年経過したが、社会環境、技術の進歩など出発当時と大きな変化が生まれてきており、講演者の來生氏が学長に就任以来、「Vision'17--- 放送大学新時代」を掲げており、すべての人に大学教育の機会を提供するという役目を含む生涯教育の機関として、新たな教養教育やリカレント教育の場を提供していくと述べられた。



公開講演会の告知ポスター。



熱心に聞き入る受講者の皆さん。

11/11 (日)

「北の縄文世界—その魅力と価値—」

講師：岡田 康博 氏（青森県企画政策部理事・世界文化遺産登録推進室長）／アウガ5階 AV 多機能ホール



公開講演会の告知ポスター。



講演中の岡田先生。会場には、縄文文化に関心のある皆さんが集まりました。

縄文時代は一万五千年ほど前の土器の制作が開始された時を始めとする時代区分で、二千三百年前ぐらいに終わる。年代が測定された土器の世界最古級のものは、青森県外ヶ浜町大平山元遺跡から出土している。この例や有名な三内丸山遺跡など、青森県にはたくさんの縄文時代の遺跡があり、津軽海峡を挟んだ地域で縄文時代一つの文化圏が形成されていた。この事実をもとに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界遺産に登録しようという動きが続いている。その中心になっている方が今回の講演者の岡田康博先生である。

縄文時代は土器の制作とともに、生活が「遊動」から「定住」に移った時代でもあり、当時の社会生活をうかがえる住居跡や精神生活にかかわる土偶、墓などが見出され、しかも地域としてのまとまりをもつ文化圏を構成している。

この津軽海峡を挟んだ地域の遺跡を見ると、いろいろな自然環境の下で自然に大きな負荷をかけずに継続的な自然に適応した生活が送られたことがわかる。

同時代の気候的にも似ている東北アジアの文化と比較すると、そこでは稲作や雑穀栽培が行われていて、狩猟・採集・漁労を基盤とする縄文文化と異なり、縄文文化の独自性が注目される。

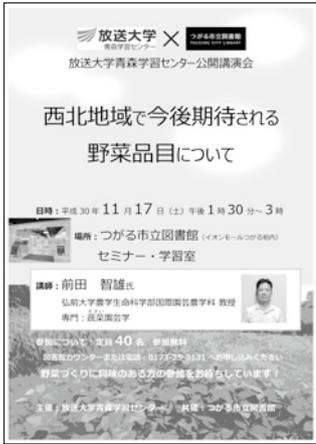
このような特徴を持つ縄文遺跡群の価値を広く知ってもらうために、世界遺産登録の準備を進めてきて、今年是国内推薦候補になったが、残念ながら自然遺産が優先された。しかし、世界遺産として認定される数そのものが減少傾向にあるので、準備を十分に行いたい、と岡田先生は講演を結んだ。

講演の内容はもっと多岐にわたりこの長さのまとめには収まらないが、この講演などを中心にした放送大学のテレビ番組で放送された。BS キャンパス ex 231ch.で、12月20日（木）21:00~21:45、再放送が12月23日（日）8:15~9:00に行われた。再々放送もあると思うので、ぜひ見てもらいたい。

11/17 (土)

「西北地域で今後期待される野菜品目について」

講師：前田 智雄 氏 (弘前大学農学生命科学部国際園芸農学科・教授)
／つがる市立図書館セミナー・学習室



公開講演会の告知ポスター。



熱心に聞き入る受講者の皆さん。

「農」の支援を一つの目標とするつがる市立図書館と共催の講演会は、昨年に続き農業関連の話題をテーマとしている。今年は西北地域で栽培にふさわしい野菜品目についての話であった。

青森県は、地域により米作、果樹、野菜、畜産と特徴があり、全体としてバランスの取れた農業県となっている。特に野菜に関しては産出額は東北で一番であり、にんにく、ごぼうなどは全国一の生産量を誇っている。他方米の転作などがあり野菜の出荷は他の県でも増えてきている。

このような状況のもと、気候条件、地味、需要などから、これから期待できる野菜としてタマネギが挙げられた。タマネギは輸入をしており、まだ生産する余地は十分あり、ネギの生産実績もあるので、青森県でもっとタマネギの生産が進んでもよいのではないかと指摘であった。

そして、前田先生の蓬田村などでの実際の生産指導に基づき、タマネギを栽培するときの方法、注意点や、さらには販売するときの処理の仕方まで具体的な説明があった。具体的な説明には、私には言葉や状況について十分理解できないこともあったが、質疑応答の様子を見ると、実際の生産者の方には十分に通じる話であったようだ。

タマネギのほかに、アスパラガスや西洋料理向けの野菜(リーキ、チコリー、トレビス)などの野菜の生産にも適しており、いくつかの野菜を組み合わせた野菜の複合作の重要性も指摘された。

質疑応答では、実際に生産をしている方からの質問が多く、地域貢献を一つの役割としている弘前大学農学生命科学部の教員の講演として、さらに図書館のミッションにもかなう講演会であった。

深まる親睦、深まる秋 ～学生行事レポート

今年の蕎麦の出来はどう？

学生会主催の恒例行事「蕎麦打ち体験学習」が11月11日(日)に行われました。参加された学生方においては、秋の深まりに合わせるように親睦も深まったのではないのでしょうか。この記事を読んだ皆さん、次回のご参加をお待ちしています！



さらさら、ぼそぼそ、ぼろぼろ…。
ふるいをかけたそば粉にきちんと計量した水を加えてこねだすと手に感じる感触が徐々に変わっていきます。「ソバ打ち体験学習」は今年で3回以上参加したと思いますが、このソバの感触や形態がどんどん変わっていく過程は毎回なんともいえない不思議な感じです。

よくテレビでみるソバを棒で伸ばしたり包丁で切る場面ですが、やってみるとそこに至るまでに意外と手間がかかっています。そしておそらく何百年も昔から試行錯誤しながら出来たであろうこの作り方は見ていていつも感心してしまいます。(なぜ丸が四角に…)

あと毎回修正はいつも先生に頼りきりですが、おかげで今回も無事(?) おいしいお蕎麦を頂くことができました。

それにしても手に感じる感触をどう説明したらいいのか、表現が貧相でうまく伝えられないですが、もしまだ体験した事がない方は機会があったら是非挑戦して味わってみてください。

三橋 知巳



手際よく作業する蕎麦打ちの先生



先生の作業に見入る参加者の方々。皆さん真剣な表情です。

次学期へむけての手続き

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。1月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。申請は、①郵送 または ② WEB (システム WAKABA) のどちらか一つの方法にて手続きしてください。

- 申請期間 ①郵送…2月13日(水)～2月27日(水) 私書箱必着
②WEB…2月13日(水) 9:00～2月28日(木) 24:00

※学部生は、放送授業のほか面接授業の科目登録もあわせて行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。
(電話:043-276-5111(総合受付))

※全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

継続入学出願が必要です。①郵送 または ② WEB (システム WAKABA) の「教務情報→継続入学申請」のどちらか一つの方法にて出願してください。

- 出願期間 ①郵送…12月1日(土)～3月17日(日) 私書箱必着
※「継続入学用出願票」や一般の出願票使用
②WEB…12月1日(土) 9:00～3月17日(日) 24:00
※WEB出願の場合も、証明書類は3月17日(日) 私書箱必着



※なお、下記にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。

(A) 入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合

必ず2月13日(水)～2月28日(木)(在学生の科目登録期間)に、システム WAKABA「継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業申請後に、面接授業科目を登録申請してください。

※郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業科目の登録ができません。

(B) 平成30年度第2学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面の「科目登録欄」の科目登録欄は空白にし、●印の設定欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入して出願してください。その場合は、入学料のみ必要となり、授業料は不要です。

※ただし、平成30年度第2学期単位認定試験に合格した場合は、出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

「継続入学用出願票」では出願できませんので、「学生募集要項」を取り寄せたうえで、「全科履修生出願票」にて出願してください。

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「学生募集要項」を入手のうえ出願してください。

- 本部から送付される「平成30年度第2学期末卒業が見込まれる皆さまへ(再入学のご案内)」をご覧ください。

次学期も学籍が続く場合と、今学期で学籍が切れる場合では、手続きが異なります。詳細は本部から送付される再入学のご案内、または「学生生活の葉」P93～96にてご確認ください。

3月末で学籍が切れる方

卒業見込みの方

さらに、卒業が決定した方には…NHK ホール「放送大学学位記授与式」出席のススメ

卒業が決定した方には、東京・NHK ホールにて挙行の学位記授与式と卒業・修了祝賀パーティの案内が大学本部より送付されます。

「NHK 紅白歌合戦」などでおなじみの大ホールに全国の学習センターから卒業生が集結し、学長の祝辞、合唱団による学歌など、ひときわ華やかな雰囲気です。

学生生活の晴れ舞台として、または学業に励んできた自分へのご褒美として、NHK ホールで卒業を迎えてみませんか。全国の仲間たちと喜びを分かち合いましょ!

★式当日の会場前では、所属センター職員が旗を目印に待機しています。

★大学主催の学校行事であるため、JRの学割証が利用できます。

※詳しい利用条件については、「学生生活の葉」P127～129で確認するか、青森学習センターへお問い合わせください。



H29年度卒業・修了祝賀パーティにて、来生学長とともに

1月・2月・3月・4月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験
 試験
 貸出停止期間
 利用停止期間

1 月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2 月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28		

3 月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
31							

4 月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

1 月

4日(金) 臨時閉所
 24日(木)・26日(土)→平成30年度第2学期単位認定試験(大学院)
 25日(金)・27日(日)・29日(火)～31日(木)・2/2(土)
 →平成30年度第2学期単位認定試験(教養学部)

■面接授業■

19日(土)～20日(日) 「放射線の起源とその利用」(八戸)

2 月

1日(金) 単位認定試験期間中閉所日
 2日(土) 平成30年度第2学期単位認定試験(教養学部)
 3日(日) 単位認定試験最終日翌日閉所日
 13日(水) 平成31年度第1学期科目登録申請開始
 《締切・郵送: 2/27、WEB: 2/28》
 27日(水) 平成31年度第1学期科目登録申請締切(郵送)
 28日(木) 平成31年度第1学期科目登録申請締切(WEB)
 平成31年度第1学期第1回出願締切
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)

■面接授業■

9日(土)～10日(日) 「ハレー彗星と明治の青森天文学者」(青森)

3 月

1日(金) 平成31年度第1学期第2回出願受付開始《～3/17》
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
 2日(土) 教員免許更新講習 修了認定試験《～3/3》
 12日(火) 図書室の室外貸出停止《～3/31》
 17日(日) 平成31年度第1学期第2回出願締切
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
 19日(火) 図書室・視聴学習室の利用停止《～3/31》
 23日(土) 平成30年度放送大学学位記授与式(東京・NHKホール)

4 月

6日(土) 平成30年度第2学期学位記授与式・平成31年度第1学期入学者のつどい(青森)
 7日(日) 平成30年度第2学期学位記授与式・平成31年度第1学期入学者のつどい(八戸)
 13日(土) 平成31年度第1学期面接授業空席発表(12時)
 追加登録事前申請受付開始《～4/18》
 19日(金) 平成31年度第1学期面接授業
 追加登録先着申請受付開始(～各科目の受付期限まで)

■面接授業■

20日(土)～21日(日) 「リスクコミュニケーション論」(八戸)
 27日(土)～28日(日) 「対人行動の心理学」(青森)
 「プレゼンテーションの理論と実践」(青森)
 「新生児期～3歳未満の発達と特徴」(八戸)

入構規制について

1月19日(土)～20日(日)は、弘前大学での大学入試センター試験実施のため、自動車での入構は一切できません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の呈示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

新学期準備に伴う室外貸出停止・利用停止について

新学期準備のため、下記の期間は図書室の室外貸出、図書室・視聴学習室の利用を停止します。

ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 図書室の室外貸出停止期間：3月12日(火)～31日(日)
- 図書室・視聴学習室の利用停止期間：3月19日(火)～31日(日)



事務室からのお知らせ



！重要！ 2019年度以降 学習センター・サテライトの図書貸出を終了します

2019年度より図書の館外貸出は、放送大学本部附属図書館で一括して行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 2019年度以降は、青森学習センター・八戸サテライトスペースでの図書貸出は行いません。
- 青森学習センター・八戸サテライトスペースに配架されている図書は、センター内に限って閲覧することができます。
- 青森学習センター・八戸サテライトスペースでは、本部附属図書館から取り寄せた図書を学生に貸出する取り次ぎ業務は、引き続き行います。

2019年度第1学期入学生募集 【出願期間：12/1(土)～3/17(日)】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集！

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がおられましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介ください。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの方が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…？もちろん、継続入学生も大歓迎です！

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

あなたのまわりに
「学びたい人」、
いませんか？



働きながら
大学卒業したい

スキルアップに
役立てたい



好きな分野を
好きなだけ

放送大学でともに学ぼう！

住所変更手続きについて (詳細「学生生活の葉」教養学部版p87、大学院版p76参照)

入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』（「学生生活の葉」巻末に様式あり）を下記宛先へ提出してください。（システム WAKABA から届け出できます。）

なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

※教養学部生、修士全科生、修士選科・科目生では提出先が異なります。

- 提出先 教養学部…所属の学習センター・サテライトスペース
大学院…修士全科生…大学本部教務課大学院企画・入試係
修士選科・科目生…大学本部学生課入学・履修係

※住所変更手続きについては、「学生生活の葉」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

※通信制大学にとっては、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

各種証明書の発行について (詳細「学生生活の葉」教養学部版p103、大学院版p87参照)

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の葉」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料（1通につき200円）を添えてお申込みください。なお、証明書の種類によっては、発行まで2週間程度を要する場合があります。

★ 郵送で申し込む場合 ★

下記の3点を青森学習センターへ送付してください。

- ①『諸証明書交付願』
- ②発行手数料分の郵便定額小為替証書（1通につき200円）
- ③返信用封筒（長形3号、切手貼付、宛名明記）

証明書の部数や種類によって重量が異なりますので、返信用封筒に貼付する切手は92円以上をおすすめします。

※諸証明書発行については、「学生生活の葉」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

青森学習センター	〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階 TEL：0172-38-0500 FAX：0172-38-1299 Twitter：@aomoricenter
八戸サテライトスペース	〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 八戸地域地場産業振興センター（ユートリー）4階 TEL：0178-70-1663 FAX：0178-70-1667
青森学習センターむつ校	〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内 TEL：0175-28-3500 FAX：0175-28-3400（※視聴・貸出のみ対応）
青森学習センターあおもり校	〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内（アウガ8階） TEL：017-776-2455 FAX：017-776-2400（※視聴・貸出のみ対応）
放送大学ホームページ	https://www.ouj.ac.jp/

